

# 第1回徳山ダムモニタリング部会

## 配付資料一覧

- 資料1 第1回徳山ダムモニタリング部会 議事次第
- 資料2 徳山ダムモニタリング部会 委員名簿
- 資料3 第1回徳山ダムモニタリング部会 出席者名簿
- 資料4 徳山ダムモニタリング部会 設立の趣意について
- 資料5 徳山ダムモニタリング部会 規約(案)
- 資料6 徳山ダムモニタリング部会の公開について
- 資料7 第1回徳山ダムモニタリング部会説明資料

日時：平成17年11月21日13:00～  
場所：KKRホテル名古屋3F 蘭の間

## 第1回徳山ダムモニタリング部会

### 議事次第

- 1．開会
- 2．主催者挨拶
- 3．委員紹介
- 4．部会長挨拶
- 5．設立趣意、規約（案）、部会の公開について
- 6．議事
  - （1）徳山ダム建設事業の進捗状況
  - （2）既往調査結果の概要等について
  - （3）今後実施するモニタリング調査計画（案）の概要について
- 7．閉会挨拶

## 徳山ダムモニタリング部会 委員名簿

氏名	専門	所属
あべ 阿部 學	鳥類 (猛禽類)	特定非営利活動法人 日本猛禽類研究機構 (Raptor Japan) 理事長
こまた 駒田 のりとも 格知	魚類	名古屋女子大学家政学部 教授
さいじょう 西條 よしみち 好迪	植物	岐阜大学流域圏科学研究センター 助教授
さとう 佐藤 まさたか 正孝	昆虫類	名古屋女子大学 名誉教授
なかむら 中村 ひろし 浩志	鳥類	信州大学教育学部 教授
ふじた 藤田 ゆういちろう 裕一郎	河川工学	岐阜大学流域圏科学研究センター 教授
まえだ 前田 きしお 喜四雄	哺乳類	奈良教育大学自然環境教育センター 教授
まつい 松井 まさふみ 正文	両生類・は虫類	京都大学大学院 教授
まつお 松尾 なおき 直規	水質	中部大学工学部 教授

(五十音順)

平成17年11月21日

## 第1回徳山ダムモニタリング部会出席者名簿

### 【委員】

阿部 學	日本猛禽類研究機構理事長
駒田 格知	名古屋女子大学教授
西條 好迪	岐阜大学助教授
佐藤 正孝	名古屋女子大学名誉教授
中村 浩志	信州大学教授
藤田 裕一郎	岐阜大学教授
前田 喜四雄	奈良教育大学教授
松井 正文	京都大学大学院教授 (欠席)
松尾 直規	中部大学教授

(五十音順)

### 【国土交通省】

(中部地方整備局)

細見 寛	河川部長
小林 稔	河川調査官
笹森 伸博	流域調整官
武田 真吾	河川環境課調整係長
木口 喬介	河川環境課技官
上野 広志	河川管理課専門官
大森 秀人	河川管理課ダム管理係長
芝 昌一	河川管理課技官

(木曾川上流河川事務所)

前田 隆成	河川環境課主任
-------	---------

(横山ダム工事事務所)

石原 慶一	建設監督官
-------	-------

### 【独立行政法人水資源機構】

(本社)

赤尾 恒博	環境室自然環境課長
仲道 貴士	環境室自然環境課

( 中部支社 )

井出 義博	支社長
早川 信光	建設部次長
柴田 和昭	建設部第一設計課長
嶋田 啓一	管理部施設課参事役
後藤 孝	建設部第一設計課課長補佐
東 紀明	建設部第一設計課

( 徳山ダム建設所 )

自閑 茂治	所長
村尾 浩太	副所長
大野 秀也	環境課長
今井 敬三	環境課主幹
梶谷 隆志	環境課主幹

【( 財 ) ダム水源地環境整備センター】

五十嵐崇博	研究第三部部長
今本 博臣	研究第三部岐阜分室長
前田 宣雄	研究第三部主任研究員

## 資料 4

### 中部地方ダム等管理フォローアップ委員会

#### 徳山ダムモニタリング部会

##### 設立の趣意について

徳山ダムは、独立行政法人水資源機構が一級河川木曾川水系揖斐川に建設している多目的ダムである。

水資源機構徳山ダム建設所では、事業の実施にあたって、「自然と共生したダムづくり」を基本理念とし、事業の実施による周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、事業の実施によって周辺影響が生じる場合には環境保全対策を実施し、その効果をモニタリングするなど、地域の自然環境に十分配慮してきたところである。また、環境調査の実施、環境保全対策の検討、実施などに当たっては、平成12年4月に「徳山ダム環境保全対策委員会」を設立し、学識者の指導・助言を得て、その適切な実施に努めてきたところである。

徳山ダムにおいては、平成19年度の事業完成に向けて平成18年秋から試験湛水を開始する予定である。このため、今後、「ダム等の管理に係るフォローアップ制度の実施について」(平成14年7月24日付け 国河環第32号国土交通省河川局長通知)に基づくフォローアップ制度の一環として、試験湛水開始前から管理初期段階までの移行期間における環境変化等を詳細に分析・評価するためのモニタリング調査を行うこととしている。今般、この調査の計画及び結果の分析について、各分野を専門とする学識者から意見を頂いて、この調査を客観的、科学的に実施するために、中部地方ダム等管理フォローアップ委員会規約第8条に基づき「徳山ダムモニタリング部会」を設立するものである。

## 資料5

### 徳山ダムモニタリング部会規約（案）

#### （名称）

第1条 本会は、「徳山ダムモニタリング部会」（以下「部会」という。）と称する。

#### （設置者）

第2条 部会は、国土交通省中部地方整備局長（以下「局長」という。）及び独立行政法人水資源機構中部支社長（以下「支社長」という。）が設置する。

#### （目的）

第3条 部会は、中部地方ダム等フォローアップ委員会規約（以下「委員会規約」という。）第8条第1項の規定に基づくモニタリング部会であり、モニタリング調査計画及び調査結果の分析の内容を審議し、局長及び支社長に対して意見を述べることによって、徳山ダムの適切な管理に資することを目的とする。

#### （部会）

第4条 部会の委員は、学識経験を有する者で構成し、別表-1のとおりとする。

- 2 部会には委員会規約第8条第5項（1）の規定に基づき部会長を置く。
- 3 部会は、プロジェクトチームを設置することができる。
- 4 部会長は会務を総理する。
- 5 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

#### （プロジェクトチーム）

第5条 プロジェクトチームは、部会で審議された方針に基づき組織し活動する。

- 2 プロジェクトチームのリーダーは、部会委員がつとめるものとし、複数の委員が参加する場合は、各委員の互選により選出する。
- 3 プロジェクトチームでの審議内容は、部会に報告する。
- 4 リーダーが必要と認めた場合は、部会委員以外の専門家を参加させることができる。

#### （公開）

第6条 部会は、原則として公開とする。

- 2 ただし、部会長が必要と認めた場合には非公開とすることができる。

#### （議事）

第7条 部会は部会長が招集し、部会長が議長を務める。

- 2 部会の会議は、部会に属する委員の2分の1以上が出席しなければ開催することができない。
- 3 部会の議事運営については、部会に属する委員の意見を聴いて定める。
- 4 部会は、その議事内容の概要を公表する。

(部会の意見)

第8条 部会は、モニタリング調査計画の内容及びその調査結果の分析について、委員の意見をとりまとめ、部会の意見として述べる。

(資料の掲示)

第9条 独立行政法人水資源機構徳山ダム建設所長は、部会の審議に際し、モニタリング調査計画の内容及びその調査結果の分析について説明を行い、部会からの求めに応じ、必要な資料を提供する。

(事務局)

第10条 部会の事務局は、独立行政法人水資源機構徳山ダム建設所に置く。

(雑則)

第11条 部会の委員に変更が生じる場合には、その都度部会に諮り、了承を得るものとする。

(その他)

第12条 この規約に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附則

(施行期日)

この規約は、平成 年 月 日から施行する。

## 別表 - 1

## 徳山ダムモニタリング部会 委員名簿

氏名	専門	所属
あべ 阿部 <small>まなぶ</small> 學	鳥類 (猛禽類)	特定非営利活動法人 日本猛禽類研究機構 (Raptor Japan) 理事長
こまだ 駒田 <small>のりとも</small> 格知	魚類	名古屋女子大学家政学部 教授
さいじょう 西條 <small>よしみち</small> 好迪	植物	岐阜大学流域圏科学研究センター 助教授
さとう 佐藤 <small>まさたか</small> 正孝	昆虫類	名古屋女子大学 名誉教授
なかむら 中村 <small>ひろし</small> 浩志	鳥類	信州大学教育学部 教授
ふじた 藤田 <small>ゆういちろう</small> 裕一郎	河川工学	岐阜大学流域圏科学研究センター 教授
まえだ 前田 <small>きしお</small> 喜四雄	哺乳類	奈良教育大学自然環境教育センター 教授
まつい 松井 <small>まさふみ</small> 正文	両生類・は虫類	京都大学大学院 教授
まつお 松尾 <small>なおき</small> 直規	水質	中部大学工学部 教授

(五十音順)

## 別紙

## プロジェクトチーム名簿

## 1. 生育生息環境プロジェクトチーム

・動植物の生育・生息環境に関する環境保全対策及び効果把握調査の指導・助言

氏名	所属	専門
さとう まさたか 佐藤 正孝	名古屋女子大学 名誉教授	昆虫類
まえだ きしお 前田 喜四雄	奈良教育大学自然環境教育センター 教授	哺乳類
まつい まさふみ 松井 正文	京都大学大学院 教授	両生・は虫類

## 2. ワシタカプロジェクトチーム

・ワシタカ類等に関する環境保全対策及び効果把握調査の指導・助言

氏名	所属	専門
あべ まなぶ 阿部 學	特定非営利活動法人 日本猛禽類研究機構 (Raptor Japan) 理事長	鳥類 (猛禽類)
なかむら ひろし 中村 浩志	信州大学教育学部 教授	鳥類

## 3. 河川環境プロジェクトチーム

・魚類に関する環境保全対策及び効果把握調査の指導・助言

氏名	所属	専門
こまだ のりとも 駒田 格知	名古屋女子大学家政学部 教授	魚類
もり こういちろう 森 浩一郎	名古屋女子大学家政学部 教授 (H14.3退官)	魚類

## 4. 植物プロジェクトチーム

・植生回復、植物の重要な種の移植等の環境保全対策及び効果把握調査の指導・助言

氏名	所属	専門
あんどう たつお 安藤 辰夫	自然学総合研究所副所長	植物
さいじょう よしみち 西條 好迪	岐阜大学流域圏科学研究センター 助教授	植物
みずの みずあ 水野 瑞夫	自然学総合研究所所長	植物

(五十音順)

## 資料6

### 徳山ダムモニタリング部会の公開について

部会は、原則公開とする。ただし、部会長が必要と認めた場合には非公開とすることができる。

ビデオ収録、録音及び写真撮影は、冒頭の部会長の挨拶までの頭撮りとする。

部会審議中の入退室は、原則として認めない。ただし、やむを得ない事情がある場合は、入退室を許可する。

部会終了後に委員他による記者会見を行う。審議内容に関する質問は、記者会見の際に回答する。部会場内での質問は受け付けない。